

# 図書館だより 4月号

令和 3年 4月 1日 桐ヶ丘高等学校図書館

## 図書館スタッフのつぶやき

新入生の皆さん入学おめでとうございます。  
在校生の皆さん進級おめでとうございます。  
皆さんの高校生活が、充実したものであるよう、願っています。  
授業で役立つ本、進路、仕事の本、モヤモヤした時に読んでほしい本、ワクワクする本、色々ありますので是非図書館にお越しください。

## 鬼滅の刃 大正時代

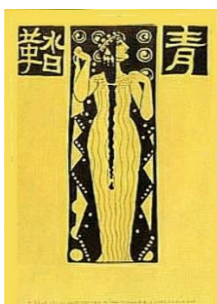
鬼滅の刃は大正時代のお話です。では大正時代とはどんな時代だったのでしょうか。政治的には**大正デモクラシー**の運動があり、その結果**普通選挙**1925～28大14～昭3が実現しました。  
大正は**戦争・恐慌**の時代でもありました。**第一次世界大戦**1914大3に参戦した日本は戦勝国となりましたが、その後の恐慌のため大陸に活路を求めて中国に進出し戦争の道を進んでいきます。文化的には**大正ロマン**と呼ばれる、自由な文化が都市部を中心に花開きました。

## 社会運動・婦人運動

### 大正デモクラシー



### 戦争



### 災害



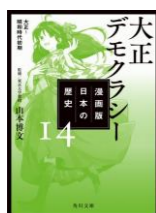
### 大正ロマン



## 図書館からのオススメ本です

### 『大正デモクラシー』

角川文庫(著)



大正デモクラシーとは、大正～昭和初期に起こった政治、社会、文化、各方面における民本主義の発展、自由主義的な運動、思想である。鬼滅の刃の時代の新しい息吹を精緻なタッチで描くマンガ。

### 『はいからさんが通るの世界』

別冊宝島編集部(編)



TVアニメ全話解説&キャラクター徹底分析。ファッション・風俗・事件…大正浪漫の時代を読み解く。

### 『市川房江』

女性解放運動から社会改革へ



房江は父から母へのDVを見て育った。女性の地位向上は彼女の悲願だった。数々の非難、無理解を乗り越え精力的に政治家として活躍。らいてうとともに新婦人協会設立、女性の深夜業禁止、婦人参政権の獲得に尽力した。

### 『美は乱調にあり』

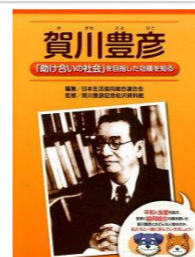
瀬戸内 寂聴(著)



野枝は婦人解放運動家、無政府主義者、青鞥の2代目編集長を務める。母校の師辻潤の元を去ると無政府主義者大杉栄に急接近。大杉には、内妻と記者の神近市子という愛人がいた。そこに野枝が加わり四角関係となった。激しく愛し熱く社会と戦った生涯。

### 『賀川豊彦』

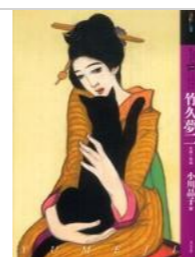
「助け合いの社会」を目指した功績を知る



賀川豊彦は生活協同組合、労働争議神戸のスラムにてセツメントなど様々な社会的活動をしました。関東大震災の際には、上京し救済活動をしました。しかし、彼の幼少期は、4歳で両親を亡くし継母に育てられるという大変淋しいものでした。ノーベル平和賞候補になった人物の生涯。

### 『竹久夢二 生涯と作品』

小川 晶子(著)



どこか懐かしく、でも新鮮!  
画家・イラストレーター・デザイナー・詩人・童話作家などさまざまな顔をもつ、マルチなアーティスト竹久夢二のレトロモダンな抒情世界。その幅広い活躍を、絵画作品を軸にその生涯を追いながら紹介。

### 『日本女性史』

脇田晴子・林玲子・永原和子(編)



原始～近現代の女性史を網羅。近代における女性解放、女性の職場進出、働く権利などについて詳しく書かれている。与謝野晶子 平塚らいてう間で起きた母性保護論争は、236pに記載。

### 『九月、東京の路上で』

加藤 直樹(著)



1923 大12 9月1日 関東大震災が南関東を中心に起こった。この時、朝鮮人が井戸に毒を入れたといううわさが広まり、日本人によりおびただしい数の朝鮮人が殺された。災害のような混乱下、いかに人間がデマに踊らされるか、コロナに悩む現代こそ読んで頂きたい。

### 『超訳マンガ 国語で習う名詩・短歌・俳句物語』

学研プラス(編)



小中学校の国語の教科書に掲載されている(されていた)、日本の文学史に輝く詩、短歌、俳句を、オールカラーのコマ割りマンガでストーリー化。授業の理解にも役に立ち、また、詩人、歌人、俳人たちの人生に涙する、感動の1冊。

### 『竹久夢二の世界』

平凡社(編)



夢二の肉筆画と版画の代表作、さらにデザイン、詩歌、俳句などその幅広い作品を紹介するとともに最新の知見で夢二作品の源泉を探る。

### 『日本のファッション—明治・大正・昭和・平成』

城 一夫(著)



イラストで明確に伝える進化の歴史150年。詳細解説付き。流行色の変遷がひと目でわかる「日本の流行色一覽」掲載。ブームのキーワードを社会的背景と紹介する「年表」完備。和服からファストファッションまで、イラスト430点。

### 『陰翳礼讃』

谷崎 潤一郎(文)/大川 裕弘(写真)



建築や灯り、漆器や芸能などを題材に、暗がりにも潜む日本の美の本質を捉えた谷崎潤一郎の名作『陰翳礼讃』。「日本の美」を考える上でのバイブルとも言える1冊が、作品にふさわしい美しい写真とともに楽しめる、ビジュアルブック。



# 鬼滅の刃 大正時代



## 大正デモクラシー

大正～昭和初期に起こった政治、社会、文化における民本主義的、自由主義的な運動の総称である。**民本主義**では主権の所在は君主か人民かあえて問わず、主権者は、人民の意向を尊重すべきと主張した。  
**政党政治**が行われ、25歳以上の全ての男子に**普通選挙権**1925～28大14～昭3が与えられた。

女子が選挙権を獲得するのは、1945昭20のことである。女子参政権運動は平塚らいてう、市川房江らによって推進された。



21B イ

## 戦争

## 第一次世界大戦

1914大3, 第一次世界大戦が世界の主要な国を巻き込んで拡大した。日本も参戦し戦勝国となった。この戦争では**化学兵器**(毒ガス)、潜水艦、戦車、といった新兵器が使われた。戦闘員900万人、非戦闘員700万人が犠牲となる大惨事となった。



559 レ

209 ア

## 社会運動・婦人運動

### 労働運動

明治期、殖産興業の名のもと、急速な工業化が進行したが労働者は劣悪な環境で、低賃金、長時間労働を強いられてきた。1912大1, 鈴木文治によって組織された**友愛会**は労働組合の全国組織となっていた。この時期労働争議が頻発した。

### 農民運動

この時代、小作争議が頻発し1922大11 杉山元治郎、賀川豊彦らによって**日本農民組合**が結成された。小作料減免、耕作権の擁護など、小作人の利益を保護する対地主闘争の組織だった。

### 無政府主義(アナキズム)

アナキズムとは国家を不必要で有害なものであると考え国家の廃止を呼びかけるもの。主要人物は**大杉栄**、妻は**伊藤野枝**、2人は震災の混乱のなか憲兵隊によって殺害された(**甘粕事件**)。



289.1 オ



913.6 ム



伊藤野枝

## 婦人運動

1911明44, **平塚らいてう**は**青鞥**を発行し女性解放を主張した。1920大9には、平塚と**市川房江**らによって**新婦人協会**が設立され、**女性参政権運動**を展開した。

## 母性保護論争

1918大7～19大8, **平塚**、**与謝野晶子**らによって展開された。女性は労働、家事育児においてどちらを優先させるべきかが議論的となった。平塚は**妊娠、分娩期の女性には国家が保護を与えるべき**と考え、この時期の女性の労働に反対した。一方与謝野は、平塚の考え方は依存的であるとして、**女性の経済的独立**を主張した。山川菊枝は平塚と与謝野の主張を整理し、家事育児の社会化に言及した。

元祖、女性は実に太陽であつた。眞正のひとである。今女性は何である。



367 ミ



367.2 ナ

VS



平塚らいてう 愛と反逆の青春 289.1 ヒ



平塚らいてう



与謝野晶子



911.16 タ

## 災害

## 関東大震災

1923大12**関東大震災**が、南関東中心に起こった。10万5千人以上の死者行方不明者発生。死者の9割が火災によるものだった。この混乱の中、朝鮮人が殺害され、甘粕事件により、大杉、伊藤の命が奪われた。



16歳の語り部



369 メ



369 ボ

## スペイン風邪

スペイン風邪は、鳥インフルエンザが変異した新型インフルエンザ。世界中で大流行し、日本でも45万人の人が命を落とした。当時第一次世界大戦下にあったが両陣営とも兵力が低下し休戦条約が結ばれたと言われている。



493 ミ



493 オ

# 大正ロマン

大正時代の雰囲気伝える思潮や文化事象を指して呼ぶ言葉である。しばしば大正浪漫とも表記されるが、「浪漫」という当て字は夏目漱石によって付けられたとされる。

19世紀を中心にヨーロッパで展開した精神運動である「ロマン主義」の影響を受け、大正時代の個人の解放や新しい時代への理想に満ちた風潮にかぶせて、このように呼ばれるようになった（日本におけるロマン主義は明治末期に始まり、大正初期に自然主義への転換で終わりを迎える）。



## ファッション

### はいからさん

西洋風のしゃれた装いや生活スタイルが「はいから」と呼ばれた時代。大正時代はファッションの西洋化が進出し近代的で新しいタイプの女性が現れ、ファッションも転換期を迎えた。女学生の間で流行したスタイルは、お下げ髪に大きなリボン、矢絣の着物に海老茶色の袴、足下は靴やブーツを履いていた。女学生たちは可憐でロマンティックなものを好みそれが巷に流行した。



### モダンボーイ・モダンガール

大正12年(1923年)、関東大震災が起こり首都圏は壊滅的な打撃を受ける。皮肉にも、そのことが機能的で動きやすい洋装を広めることになった。震災後、流行の最先端を取り入れ「モダンボーイ(モボ)」「モダンガール(モガ)」と呼ばれる若者たちが銀座を中心に闊歩し始める。モボは七三分けの髪型に中折れ帽、コンチネンタルのスーツに、ラッパズボン穿いていた。モガはショートボブかフィンガーウエーブの髪型にクロッシェやベレー帽を被りをギャルソンヌルックに身を包みアールデコ調のアクセサリをつけていた。



## 竹久夢二

1884年(明治17年)9月16日 - 1934年(昭和9年)9月1日)は、日本の画家・詩人。本名は竹久茂次郎(たけひさもじろう)。数多くの美人画を残しており、その抒情的な作品は「夢二式美人」と呼ばれた。夢二が描いた長いまつげと黒目がちの大きな瞳の哀愁にみちた美人がに現れているような都市の市民の自由な生活感覚と孤独感が大正文化の基調となった。夢二に憧れた女性たちは、その仕草や装いを真似したという。夢二は優れたデザイン感覚を持ち、モダンな図案を生みだし、小間物や文具、絵葉書など、生活美術を創造した。



# 文学

## 白樺派



1910年(明治43年)創刊の文学同人誌『白樺』を中心に起こった文芸思潮の一つ。また、その理念や作風を共有していたと考えられる作家たちのことである。大正デモクラシーなど自由主義の空気を背景に人間の生命を高らかに謳い、理想主義・人道主義・個人主義的な作品を制作した。中心人物であった武者小路実篤、志賀直哉、有島武郎は私有財産を否定し非暴力主義を貫いたロシアの小説家・トルストイの文学に傾倒し、その思想の影響を強く受けていた。

志賀直哉1883年(明治16年)2月20日 - 1971(昭和46年)10月21日)は、「小説の神様」と称せられ多くの日本人作家に影響を与えた。簡潔で的確な描写から近代文学の頂点と言われた。代表作に「暗夜行路」「和解」「小僧の神様」「城の崎にて」など。宮城県石巻生まれ、東京府育ち。



武者小路実篤1885年(明治18年)5月12日 - 1976年(昭和51年)4月9日)は、日本の小説家・詩人・劇作家・画家。華族出身で、トルストイに傾倒し、『白樺』創刊に参加。天衣無縫の文体で人道主義文学を創造し、「新しき村」を建設して実践運動を行った。伝記や美術論も数多い。

『お目出たき人』『その妹』『幸福者』『友情』『人間万歳』『愛と死』『真理先生』など。文化勲章受章。名誉都民。



有島武郎1878年(明治11年)3月4日 - 1923年(大正12年)6月9日)学習院中等科卒業後、農学者を志して北海道の札幌農学校に進学、キリスト教の洗礼を受ける。1903年(明治36年)に留学のため渡米。帰国後、志賀直哉や武者小路実篤らとともに同人「白樺」に参加する。1923年、軽井沢の別荘(浄月荘)で波多野秋子と心中した。代表作に『カインの末裔』『或る女』や、評論『惜しみなく愛は奪ふ』がある。



レフ・トルストイ1828年9月9日〔ユリウス暦8月28日〕 - 1910年11月20日〔ユリウス暦11月7日〕)は、帝政ロシアの小説家、思想家で、フョードル・ドストエフスキー、イワン・ツルゲーネフと並び、19世紀ロシア文学を代表する文豪。英語では名はレオ(Leo)とされる[1]。代表作に『戦争と平和』『アンナ・カレーニナ』『復活』など。文学のみならず、政治・社会にも大きな影響を与えた。非暴力主義者としても知られる。

